



2023年3月期

決算説明会資料



2023年5月10日

ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

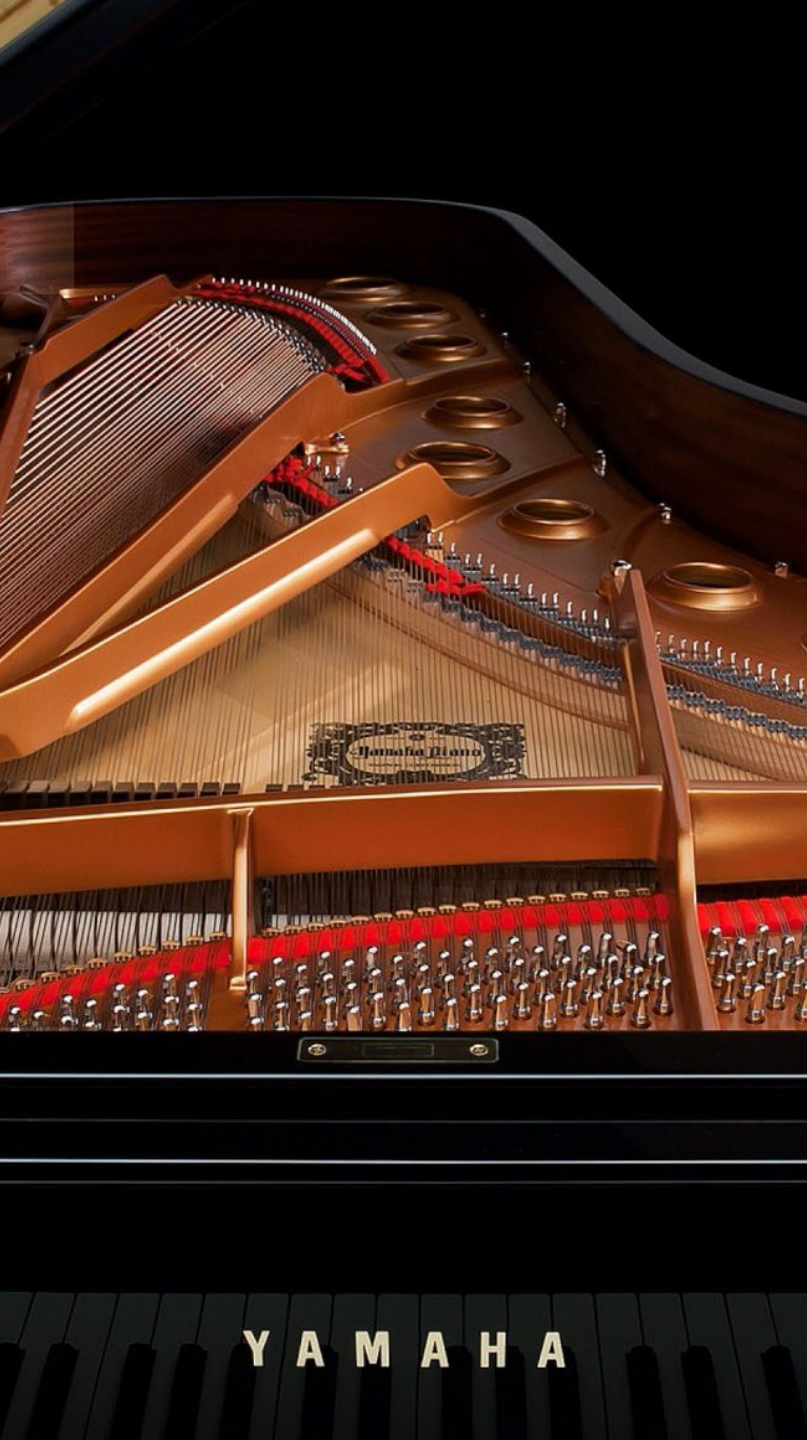
【23/3月期 通期実績】

- ・ 対前年増収増益
- ・ 売上収益は、半導体調達難、エントリーモデルの需要減、中国のコロナ感染症による混乱などの影響あるも、価格適正化と為替影響により増収
- ・ 事業利益は、材料費などコスト上昇の中、価格適正化と、為替の寄与もあり増益

業績予想

【24/3月期 通期予想】

- ・ 世界経済の見通しは不透明も、中国・欧州などの市場回復、半導体調達難などによる供給不足の改善などを折り込み、対前年増収増益を予想
- ・ 増収に伴い事業利益は過去最高を予想
- ・ 年間配当は74円を予想



Y A M A H A

1. 決算概要

業績概要

(億円)

	22/3	23/3	前期比	
			増減	増減率
売上収益	4,082	4,514	432	+10.6% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	430 (10.5%)	459 (10.2%)	28	+6.6%
当期利益 ^{*1}	373	382	9	+2.5%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

^{*2} △0.2%
 (為替影響除く)

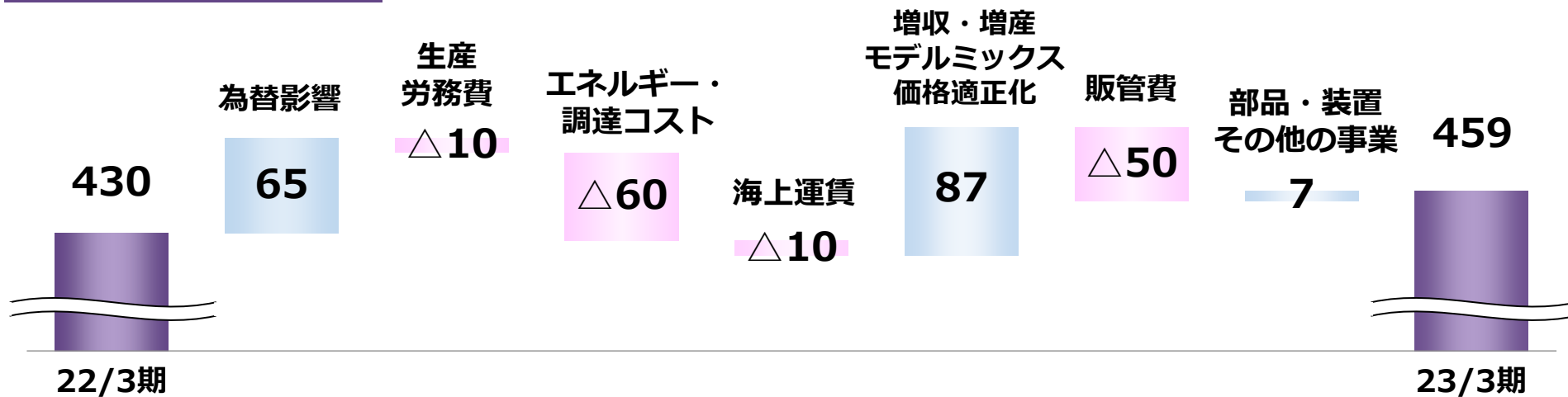
為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	112	135
	EUR	131	141
利益 (決済レート)	US\$	112	136
	EUR	131	136

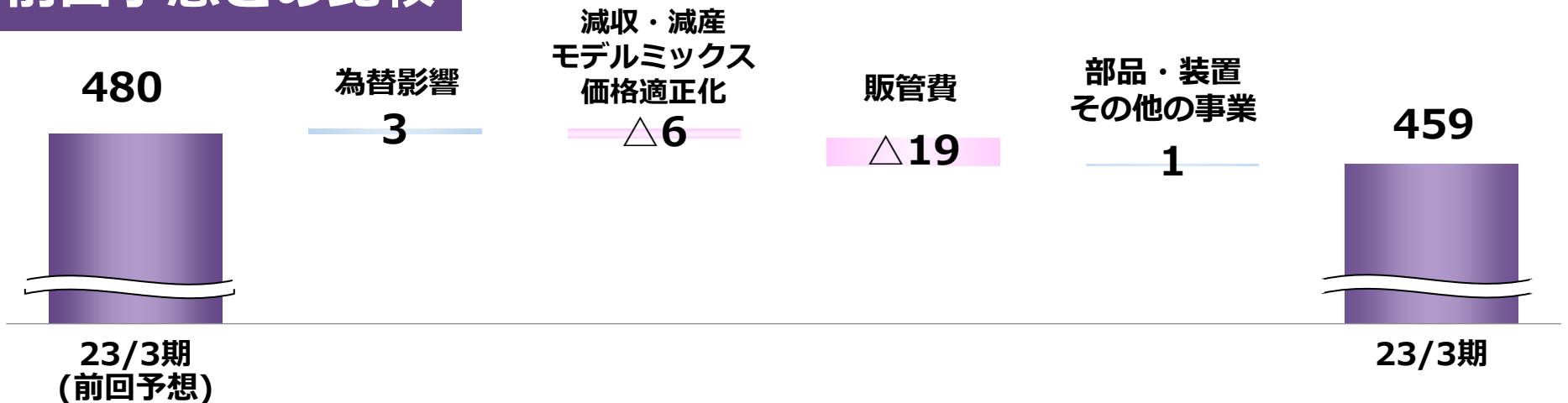
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



事業別業績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,762	3,027	265	312
	事業利益	373	362	△11	70
	事業利益率	13.5%	12.0%	△1.5P	
音響機器事業	売上収益	969	1,076	107	93
	事業利益	15	35	19	△19
	事業利益率	1.6%	3.2%	1.6P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	351	411	60	35
	事業利益	42	62	20	13
	事業利益率	11.8%	15.1%	3.3P	

業績予想

(億円)

	23/3	24/3	前期比	
			186	+4.1% ^{*2}
売上収益	4,514	4,700		
事業利益 (事業利益率)	459 (10.2%)	560 (11.9%)	101	+22.1%
当期利益 ^{*1}	382	420	38	+10.0%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +6.6%
(為替影響除く)

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	135	130
	EUR	141	140
利益 (決済レート)	US\$	136	130
	EUR	136	140

1円変動による影響額

約10.3億円

約6.7億円

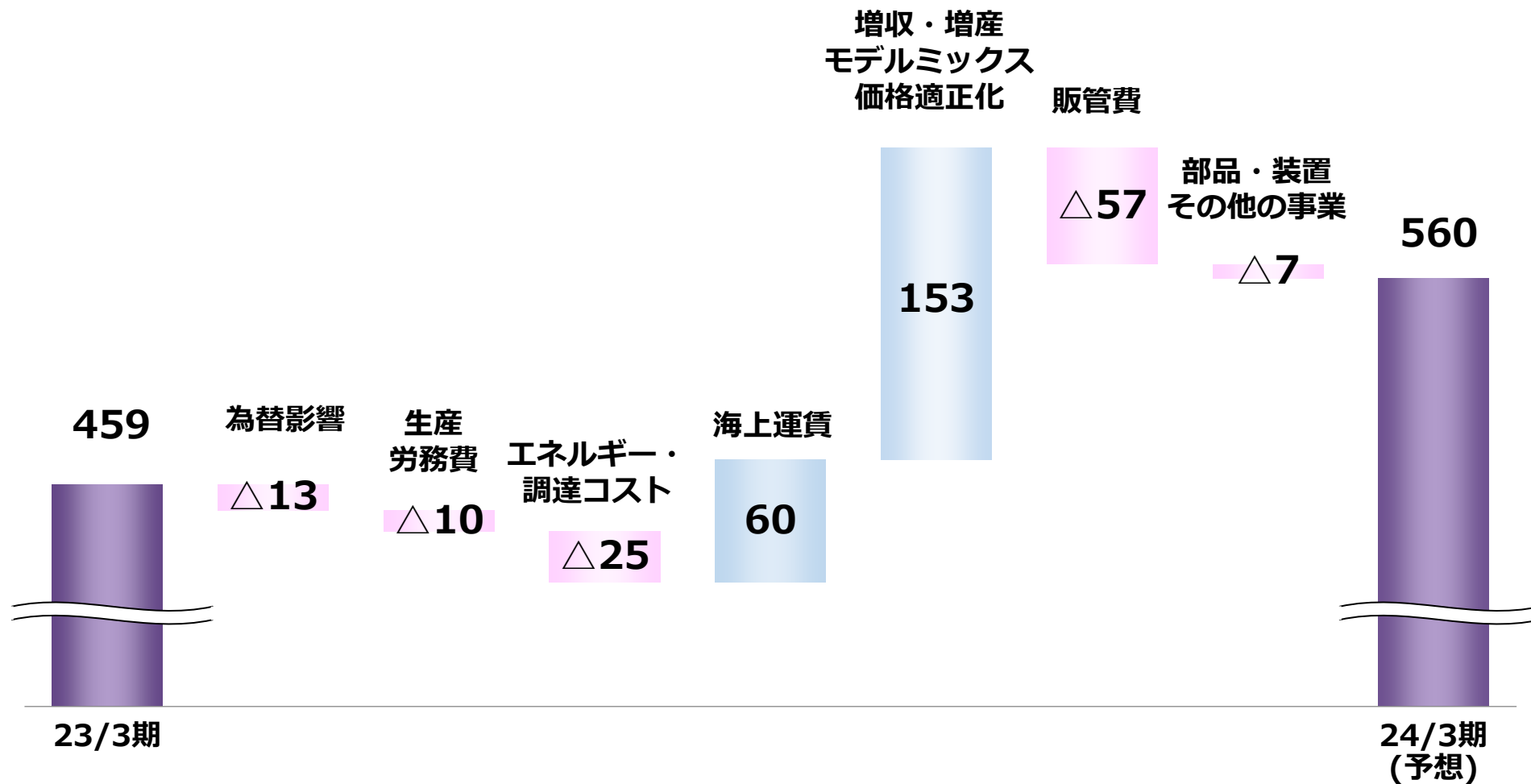
約1.1億円

約4.7億円

事業利益増減要因予想

前期との比較

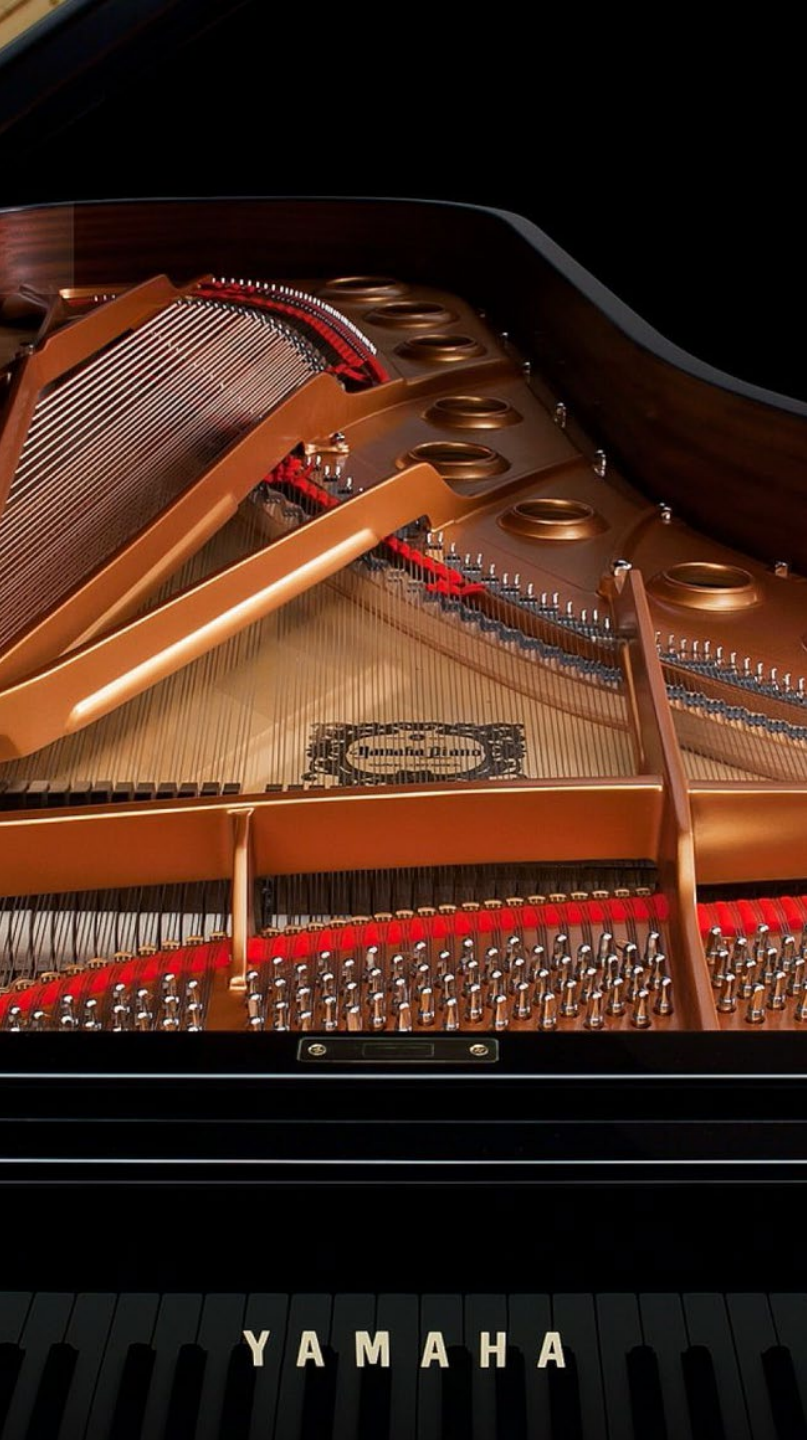
(億円)



事業別業績予想

(億円)

		23/3	24/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,027	3,180	153	△79
	事業利益	362	430	68	△13
	事業利益率	12.0%	13.5%	+1.5P	
音響機器事業	売上収益	1,076	1,120	44	△24
	事業利益	35	80	45	5
	事業利益率	3.2%	7.1%	+3.9P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	411	400	△11	△7
	事業利益	62	50	△12	△5
	事業利益率	15.1%	12.5%	△2.6P	

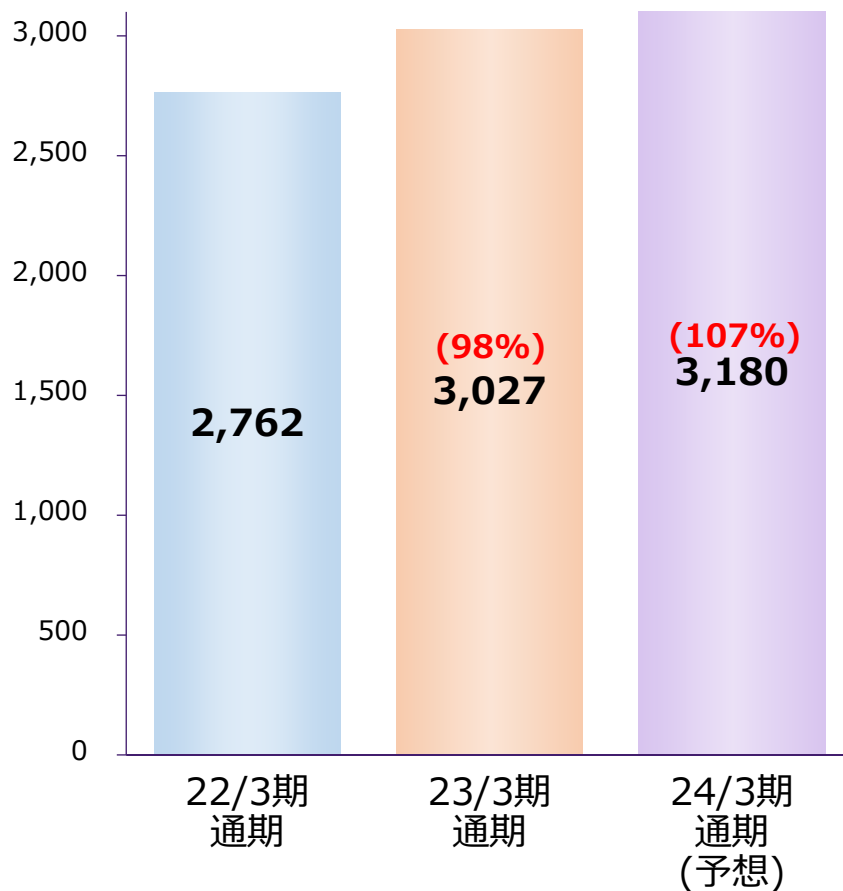


2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



[23/3期] 中国コロナ影響、エントリーモデル需要減により実質減収

- ・ピアノは中国のコロナ影響で大幅な減収、電子楽器はエントリーモデル需要減で減収、管弦打は北米好調継続し大幅増収、ギターはエレキギター好調で増収
- ・中高級モデルの需要は依然堅調

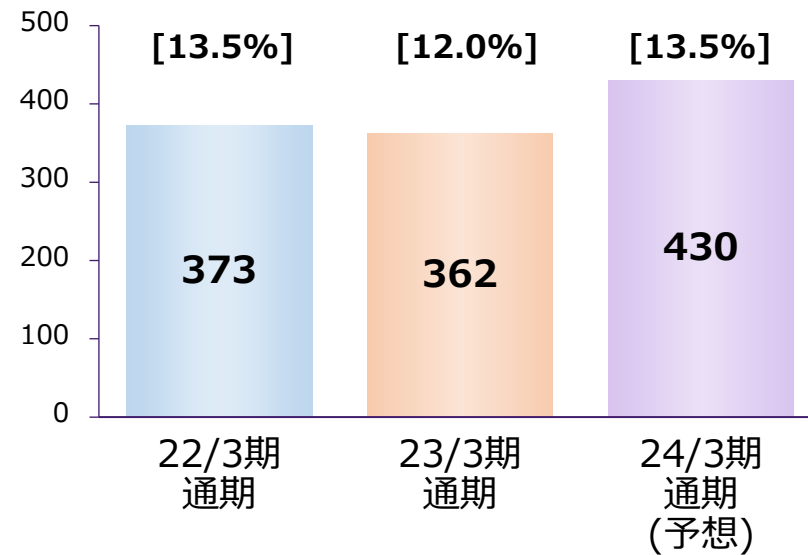
[24/3期] 中国復調し、全地域で増収を予想

- ・ピアノは中国市況回復で増収、電子楽器は中高級モデル拡売で増収、管弦打は吹奏楽需要安定し前年並み、ギターはコルドバ社が加わり2桁増収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益

(億円)



主要商品 販売状況

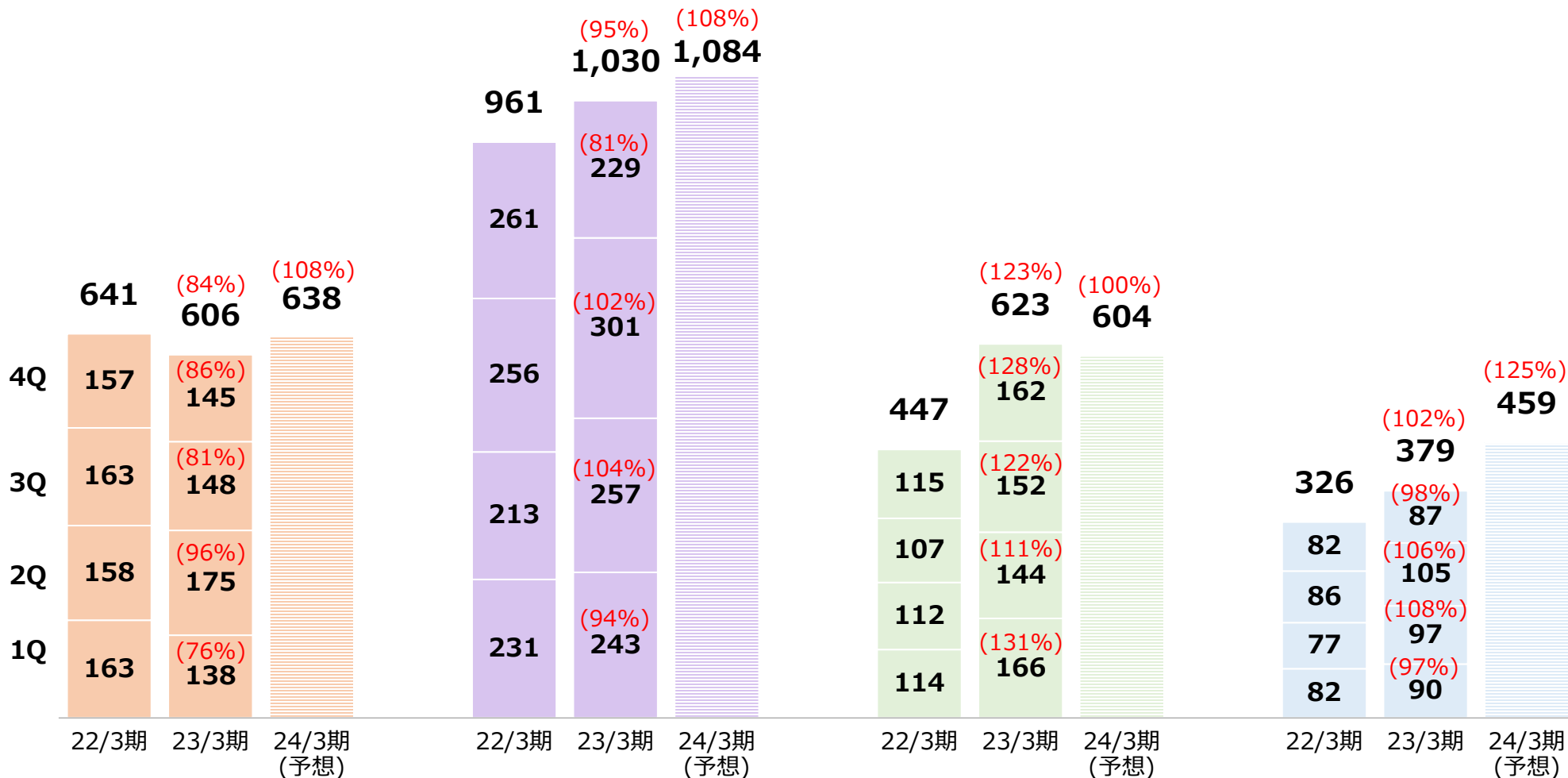
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

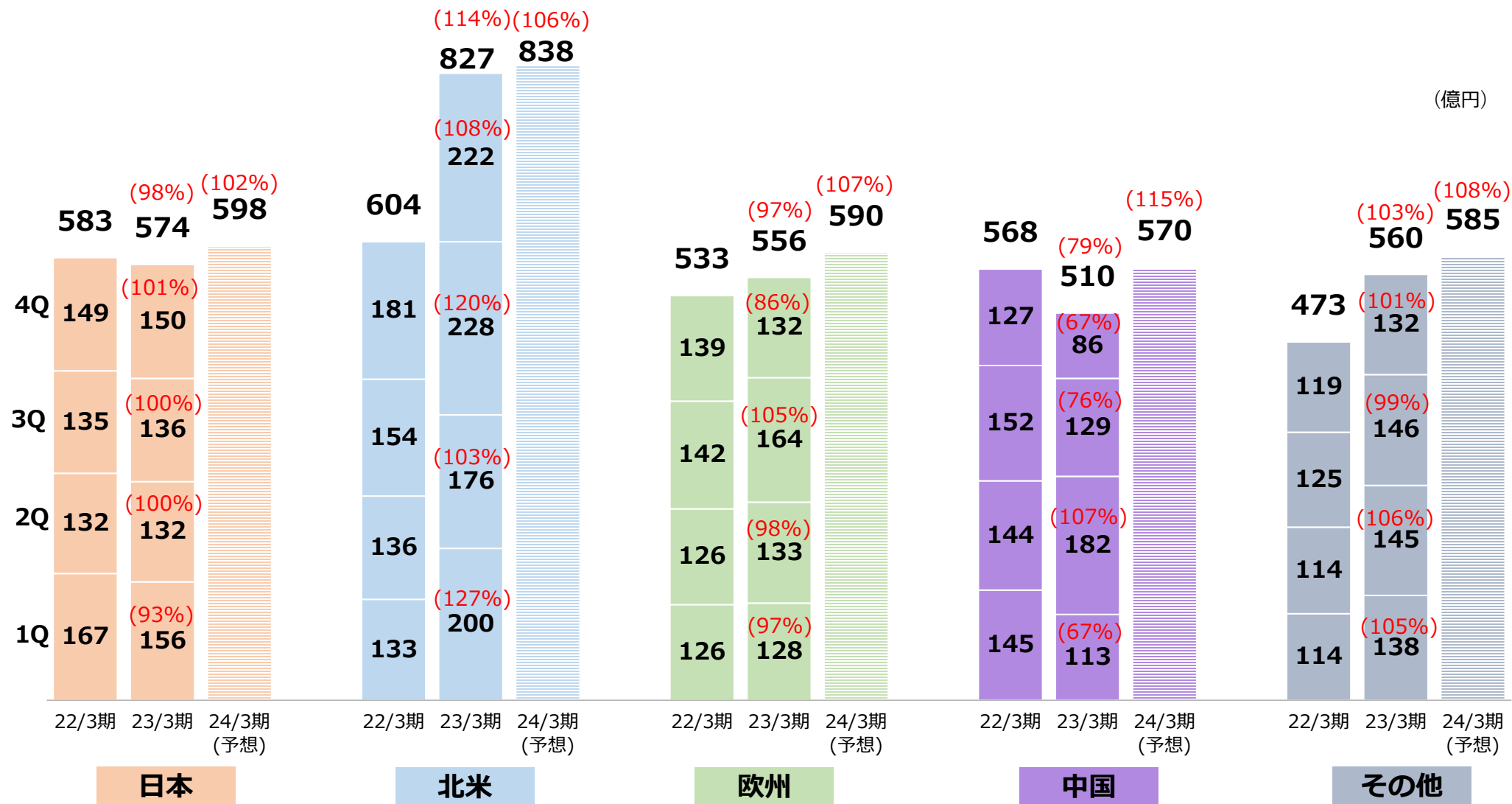
(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況

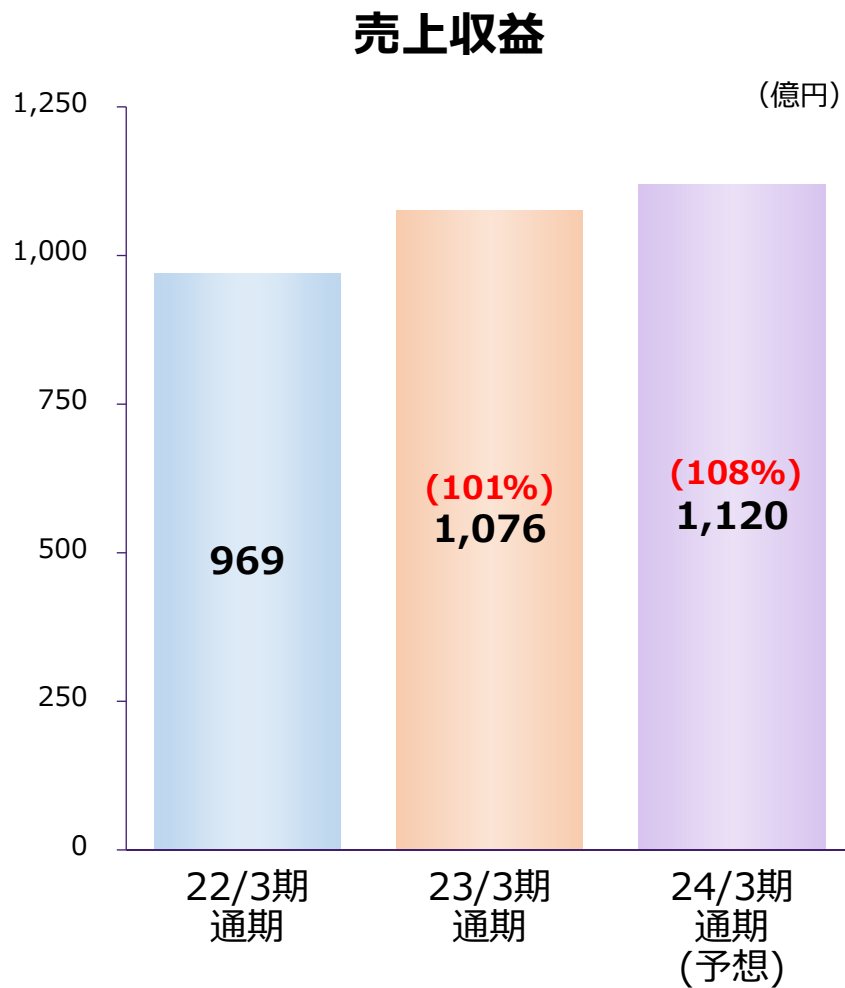
(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

売上収益・事業利益



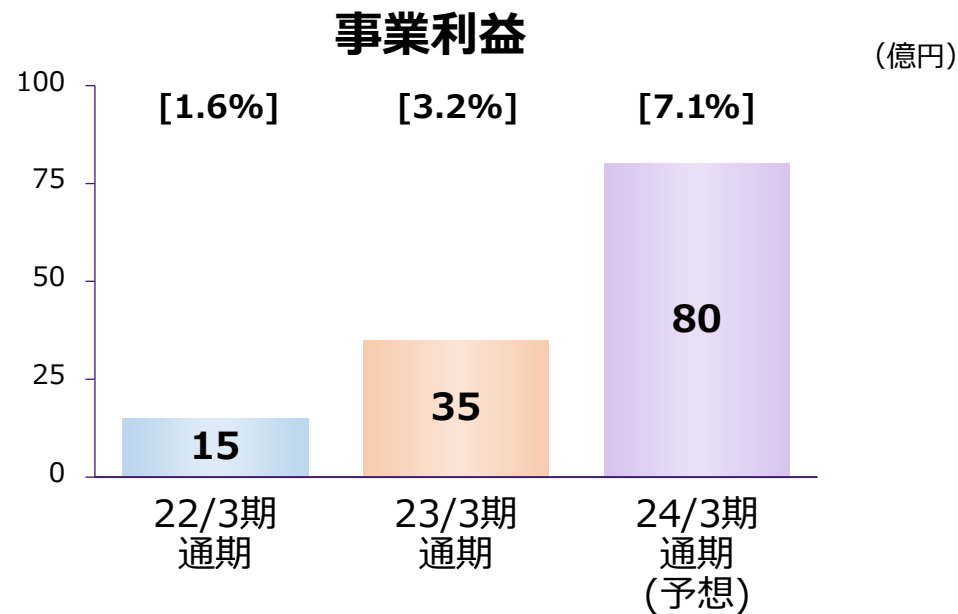
[23/3期] PAの半導体調達難が下期に改善し増収

- ・AVは半導体調達難とエントリーモデル販売不振で大幅減収
- ・PAは需要堅調で、半導体調達難が改善し増収
- ・ICTはネットワーク販売好調で大幅増収

[24/3期] 半導体調達難解消し増収を予想

- ・半導体調達難解消で個人向けが伸長し増収を予想
- ・個人向け・法人向けに事業再編し、新たなドメインを拡大

(増減収はすべて実質ベース)



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[]内は事業利益率

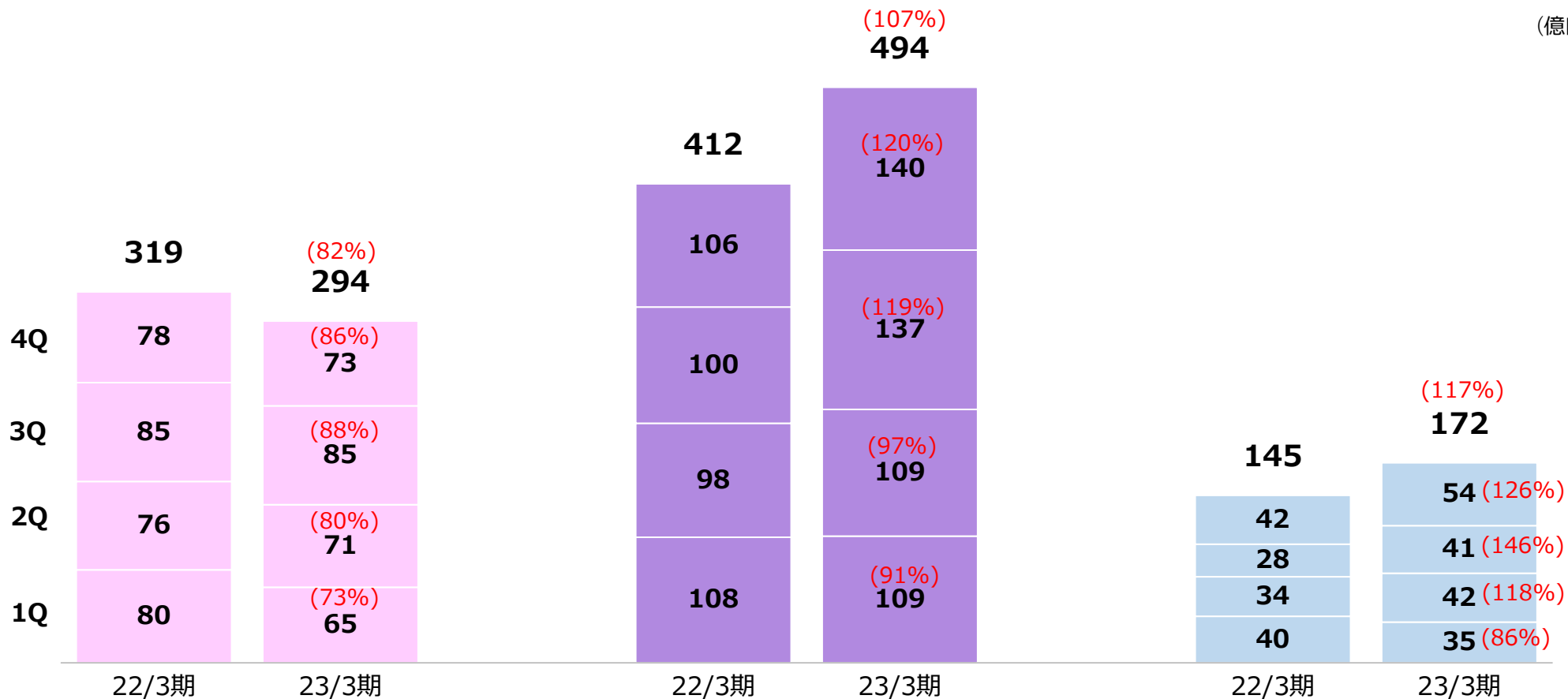
主要商品 販売状況

AV機器

PA機器

ICT機器

(億円)



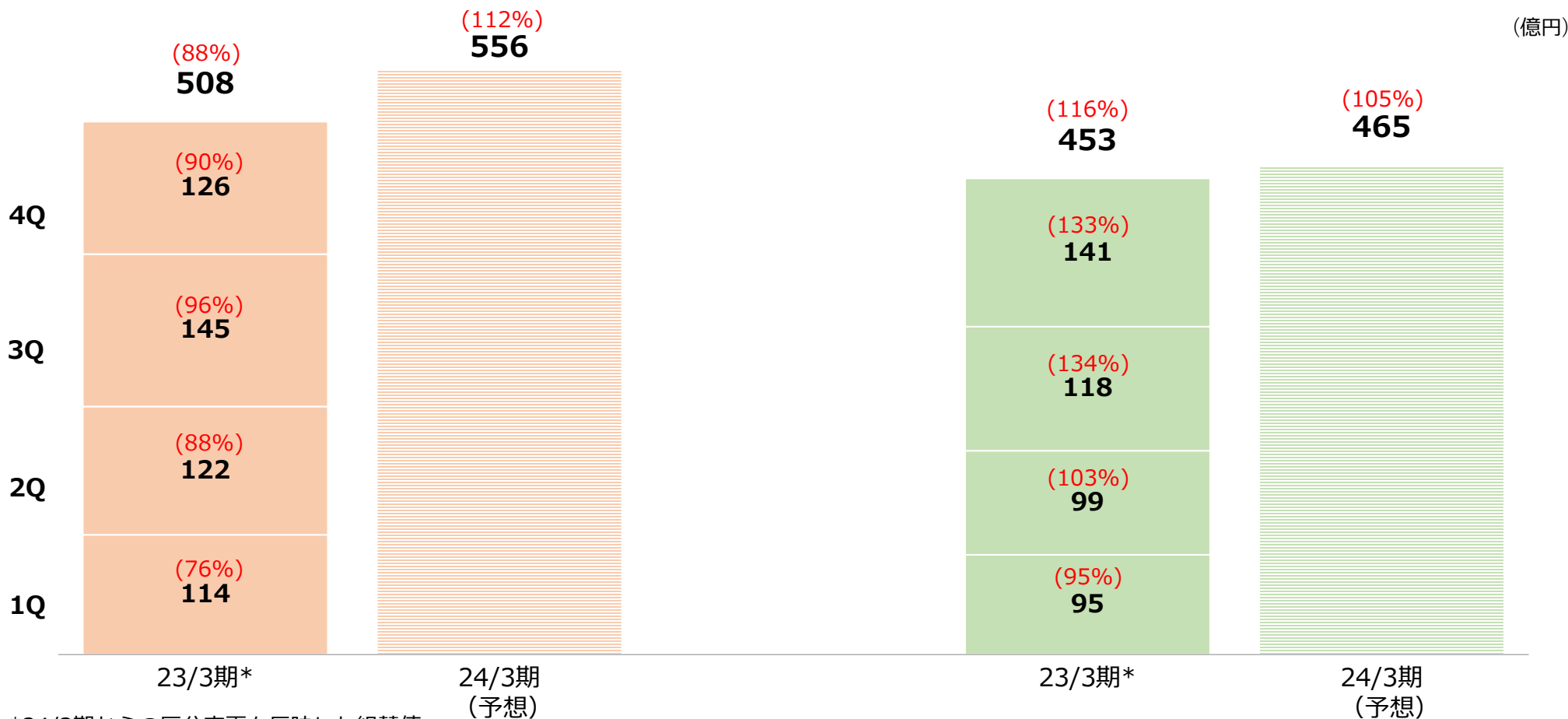
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

主要商品 販売状況

2024年3月期よりセグメントの内訳をAV機器、PA機器、ICT機器から、個人向け、法人向けに変更しています。

個人向け

法人向け

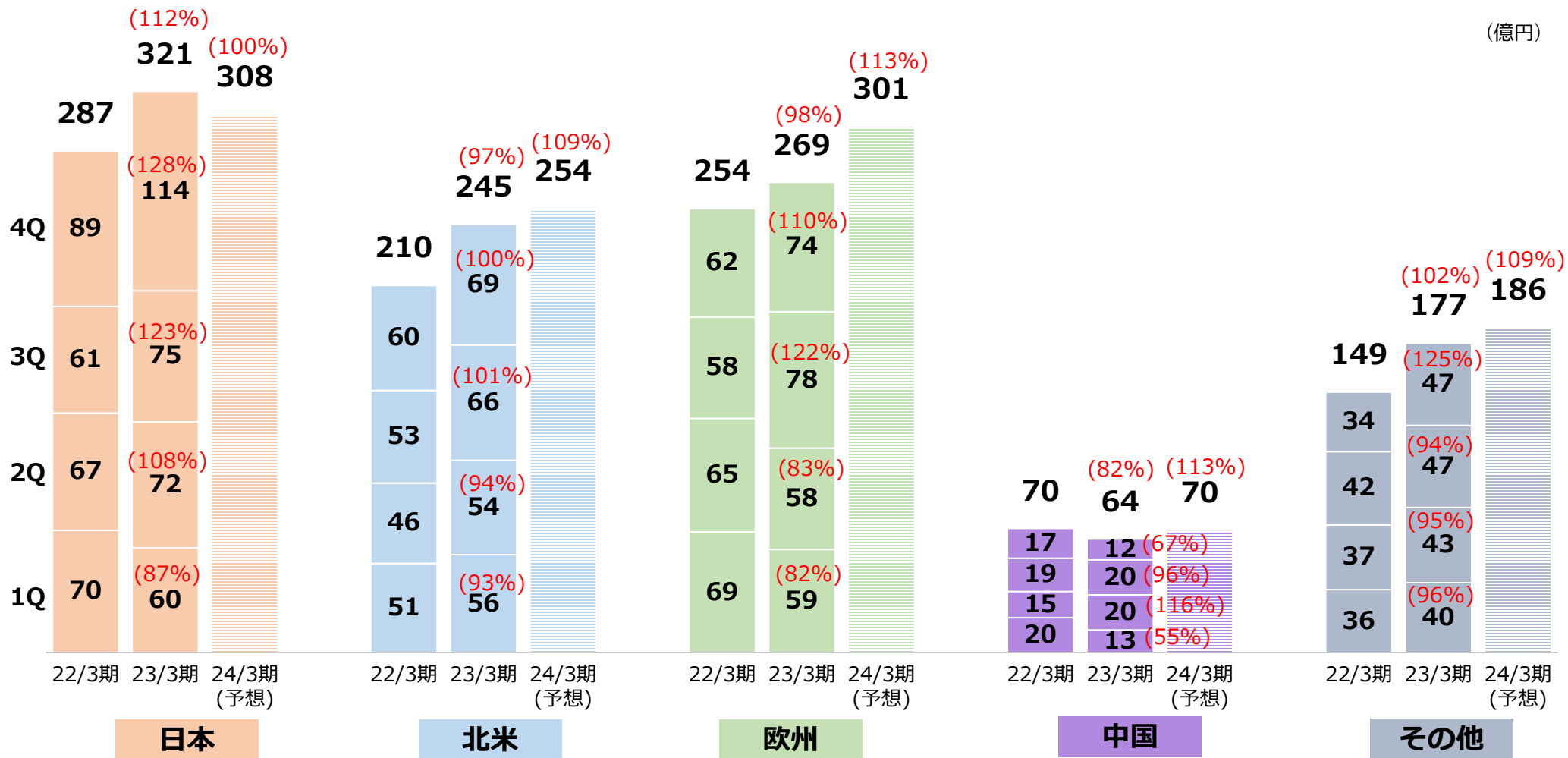


*24/3期からの区分変更を反映した組替値

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況

(億円)

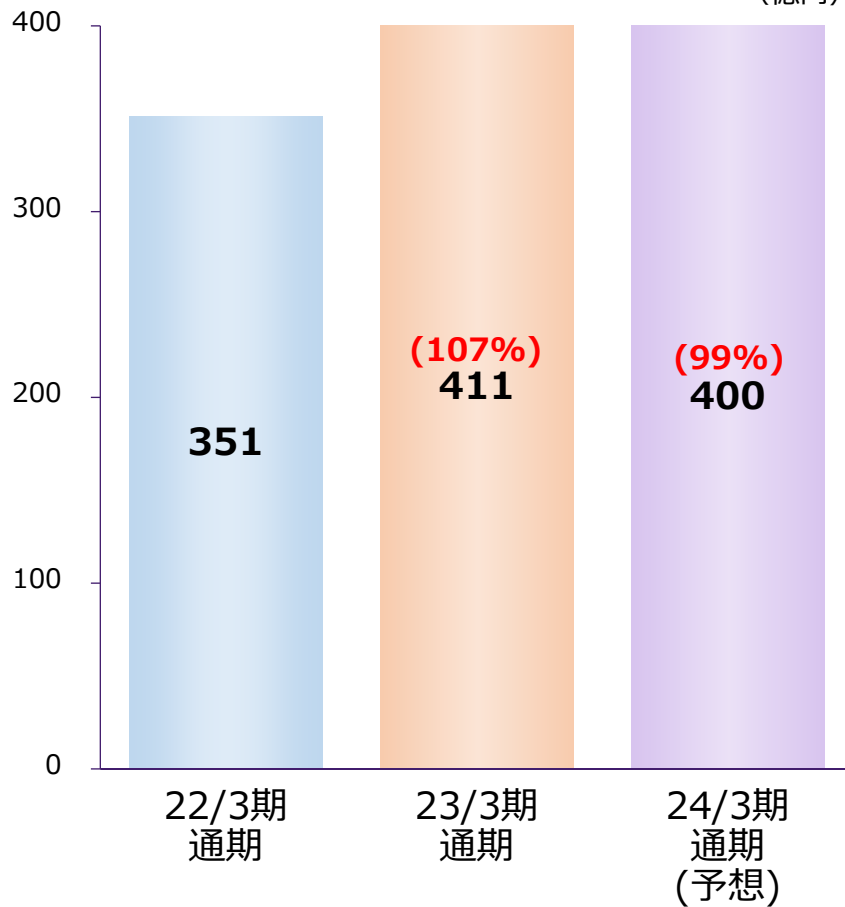


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[23/3期]

- ・車載オーディオの採用が拡大し電子デバイスは大幅増収
- ・自動車用内装部品、FA機器は減収
- ・ゴルフ用品は大幅増収

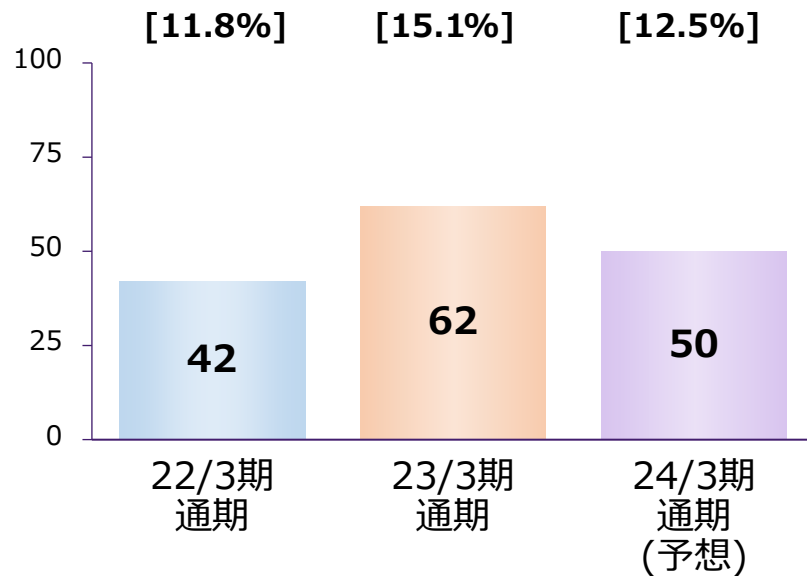
[24/3期]

- ・車載オーディオのさらなる拡大で部品・装置事業は増収を予想
- ・ゴルフの特需がピークアウトし減収を予想

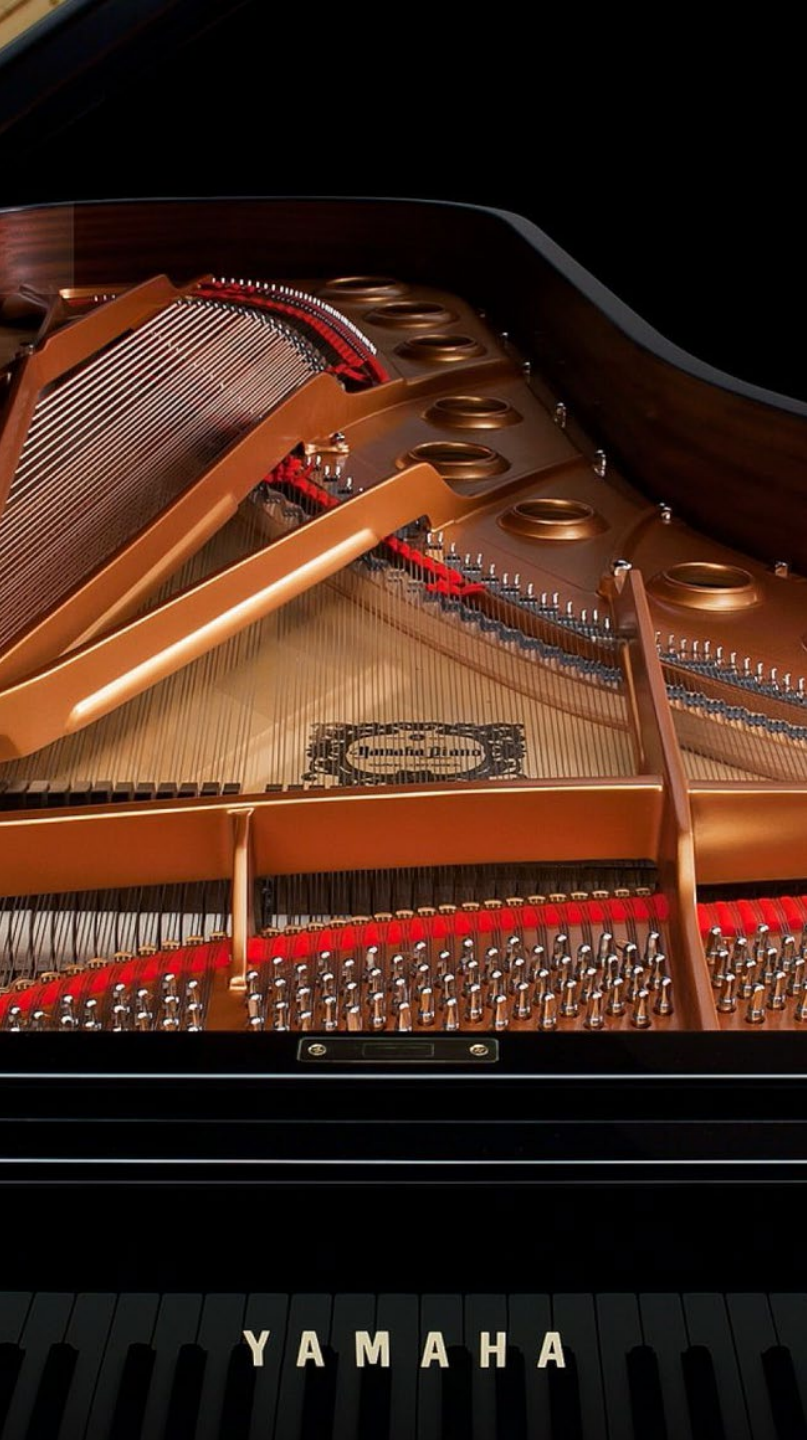
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益

(億円)



[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

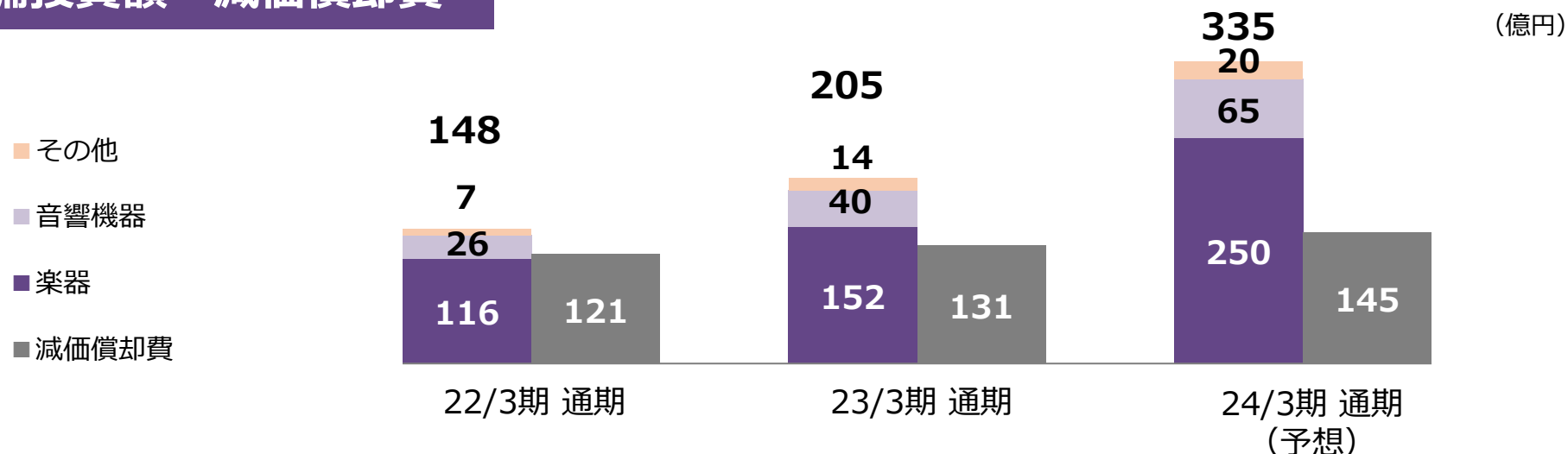
(億円)

	22/3末 (組替)	23/3末	増減	24/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,725	1,039	△686	1,380
営業債権他	600	754	153	750
その他金融資産	44	11	△33	10
棚卸資産	1,186	1,536	349	1,280
他流動資産	72	126	55	80
非流動資産	2,180	2,477	297	2,660
資産計	5,807	5,942	136	6,160
流動負債	1,261	951	△310	990
非流動負債	377	412	35	410
資本計	4,169	4,579	411	4,760
負債及び資本計	5,807	5,942	136	6,160

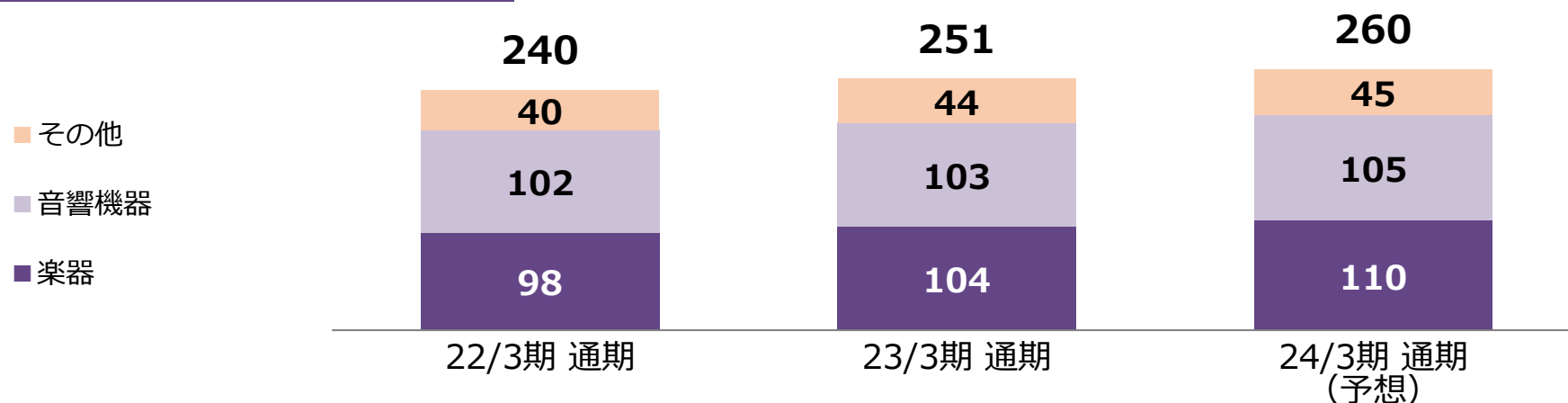
*会計方針の変更を22/3期に遡り組み替えて表示しています。

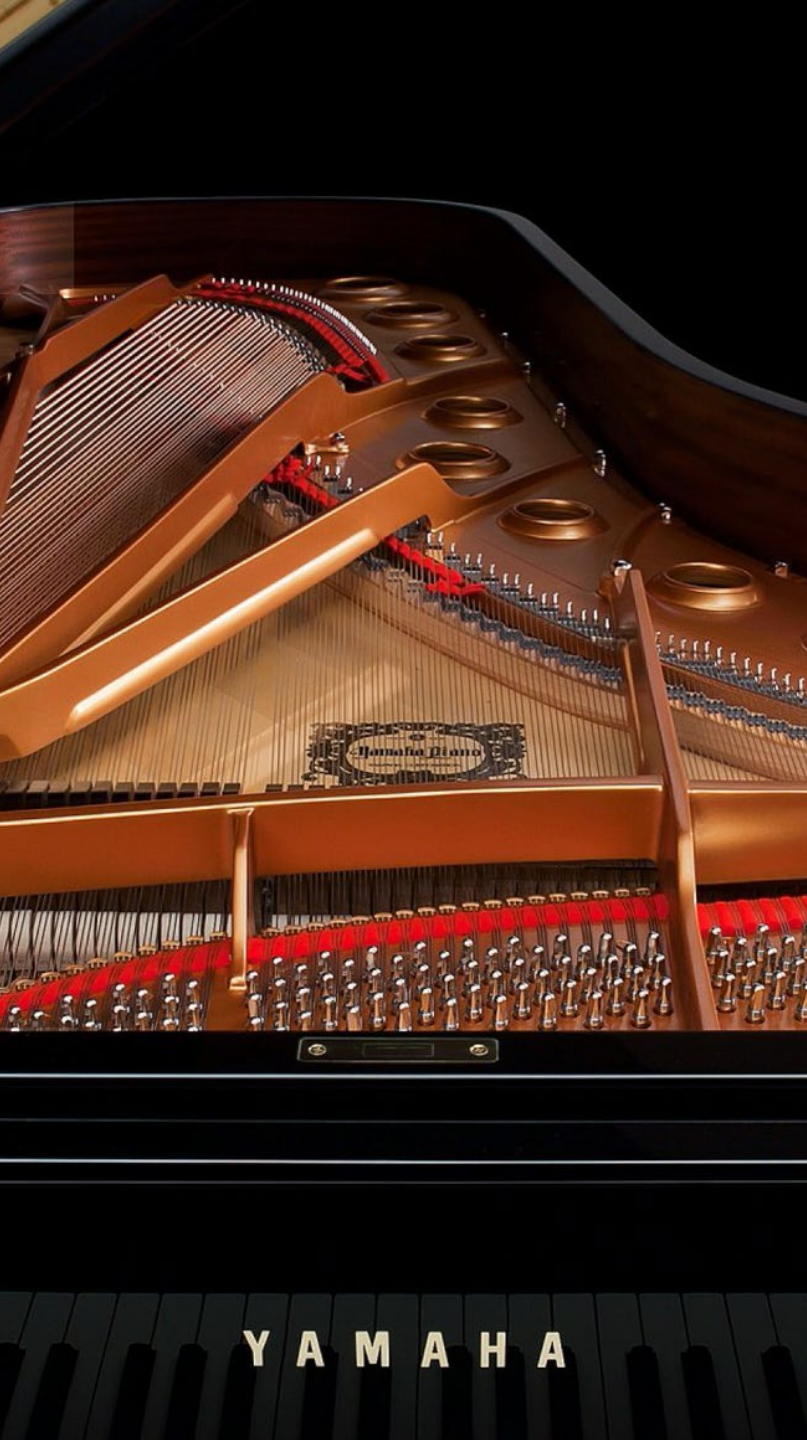
設備投資額・減価償却費 / 研究開発費

設備投資額・減価償却費



研究開発費





4. トピックス

Y A M A H A

中期経営計画 非財務目標の進捗

新たな社会で持続的な成長力を高めるための非財務目標

事業基盤を
より強くする



顧客ともっと繋がる指標



Yamaha Music ID登録数
1年目実績 中計目標
240万ID/500万ID

新価値創出指標



新コンセプト商品投入数
1年目実績 中計目標
2モデル/20モデル

レジリエンス指標



生産インフラへの投資金額
1年目実績 中計目標
54億円/350億円

サステナビリティを
価値の源泉に



音楽文化普及指標



器楽教育支援
1年目実績 中計目標
累計 **202万人/230万人**
対象 **7カ国/10カ国**

環境負荷低減指標



持続可能性に配慮した木材使用率
中計目標 **75%**
**既存認証材使用体積減少も
新たな認証材の採用拡大**



省エネによるCO2排出量削減
中計目標 **5%** (CO2排出量/生産高)
**コロナ禍で電力効率低下も電力監視
システム導入等 省エネ施策推進**

ともに働く仲間の
活力最大化



働きがい指標



従業員サーベイ
働きがい肯定的回答率
継続的向上

仕組み・制度の整備進む

女性活躍推進指標



管理職女性比率
1年目実績 中計目標
グローバル **17%/19%**

働きやすさ指標



従業員サーベイ
働きやすさ肯定的回答率
継続的向上

**健康経営銘柄2年連続選定、
職場環境改善整備中**

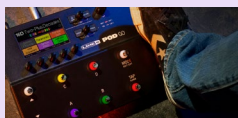
中期経営計画 重点テーマ/事業基盤をより強くする

① 顧客ともっと繋がる

持続的な成長力を高める戦略投資

米ギターメーカーCordoba社買収
 (23/3期連結、52億円)
 YGGを核に多様な魅力を発信





https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23020701/

フィリピン販売現地法人設立

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23040301/

事業ドメインの拡大

車載オーディオの採用拡大
 中国メーカーなど6社へ



https://device.yamaha.com/ja/automotive_sound/

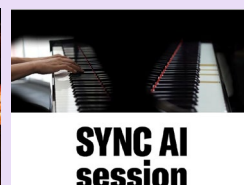
② 新たな価値を創出する

ヤマハならではの顧客体験を創造

AI技術を活用した新価値提案



憧れのピアニストとの連弾



**SYNC AI
session**



AI歌声変換マイク

<https://jp.yamaha.com/services/syncai/index.html>

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22082401/

世界中のヤマハ音楽教室の
 生徒による
 オンラインコンサート配信

<https://youtu.be/k3hzMnHjtYg>



「Clarivate Top 100 グローバル・イノベーター
 2023」に選出

世界の革新的な企業トップ100社に選出

Top 100
 Global
 Innovator
 2023

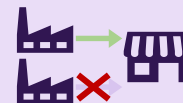
Clarivate

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23041001/

③ 柔軟さと強靭さを備え持つ

環境変化に対応する供給力を強化

ルーターの複数拠点生産に
 よるレジリエンス確保



半導体調達先、調達部品の
 戦略的絞り込み

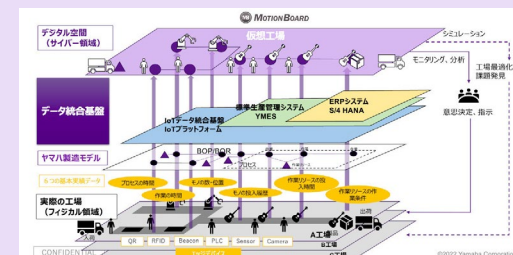


DXによる新たな価値の創出と プロセス改革

販社新ERP導入開始、販売業務の効率化を図る

製造のデジタルツイン導入加速

生産の見える化による迅速な意思決定とQCD向上を目指す



中期経営計画 重点テーマ/事業基盤をより強くする

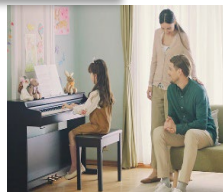
② 新たな価値を創出する ～ 個性際立つ新商品を投入 ～

コンサートグランドピアノ



CFX

電子ピアノ



ARIUS

ミュージックシンセサイザー



MODX+

ポータブルキーボード



PSR-E473

エレキギター



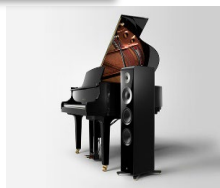
REVSTAR

ギターエフェクター



Line 6 DL4 MkII

スピーカー



NS2000A

ヘッドフォン



YH-5000E

ライブストリーミングミキサー



AG08

ゲーム配信用オーディオ ミキサー・ヘッドセット



ZGシリーズ

ポータブルPAシステム



STAGEPAS

ビデオ会議システム



CSシリーズ

遠隔会議用ワンストップ サウンドソリューション



ADECIA

VPNルーター



RTXシリーズ

防音室



DIY.M

電子デバイス



車載オーディオ用スピーカー・アンプ

自動車用内装部品



高級車向けウッドパネル

ゴルフクラブ



Inpres DRIVESTAR

中期経営計画 重点テーマ/サステナビリティを価値の源泉に

【環境】

①地球と社会の未来を支える バリューチェーンを築く

2050年カーボンニュートラルに向けた CO2排出量削減

工場を中心に省エネ活動を推進
再生可能エネルギーへの転換

(本社100%達成、天竜工場導入)

インターナルカーボンプライシング制度導入

持続可能な木材の利用

木材デュージェレンスの推進

調達先への書類・訪問調査による伐採時合法性を確認

楽器材料となる希少樹種の育成・保全活動を推進



おとの森活動（北海道・タンザニア）

https://www.yamaha.com/ja/csr/feature/feature_14/

【社会】

②快適な暮らしへの貢献で ブランド・競争力を向上する

演奏のバリアフリーをめざした ユニバーサルデザインの取り組み

インクルーシブな社会を目指す
「だれでもピアノ」の研究開発推進



「だれでもピアノ」ワークショップin横浜音祭り2019 ©平館平

https://www.yamaha.com/ja/csr/feature/feature_16/

音の技術を生かして、 「交通事故被害の低減」に貢献

緊急通報通話システム
採用拡大



https://www.yamaha.com/ja/csr/feature/feature_07/

【文化】

③音楽文化の普及・発展 により市場を拡大する

新興国の器楽教育普及の 取り組み拡大



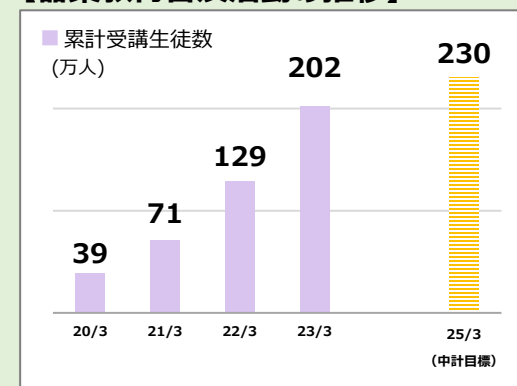
器楽・音楽教育導入事業が文部科学省
「日本型教育の海外展開」令和4年度EDU-
Portニッポン応援プロジェクトに採択
(エジプト・ブラジル・インド)

エジプトで日本の音楽
教育を公立校40校に
導入拡大



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22111801/

【器楽教育普及活動の推移】



中期経営計画 重点テーマ/ともに働く仲間の活力最大化

① 働きがいを高める

自律的キャリア開発の支援

ジョブ・スキルを整理し、社員自らキャリア形成を描く仕組みを整備

社内キャリア採用公募制度を運用開始
(23年5月)

副業の許可基準を明確化し、多様な働き方を支援 (23年4月)



② 人権尊重とDE&Iを推進する

多様な人材が活躍できる環境整備

女性リーダー育成に向けた支援を拡充

グローバルな人材活用に向け、クロスボーダー配置の規定を整備

グローバルDE&Iサイト開設



https://www.yamaha.com/ja/csr/diversity_equity_inclusion/

「PRIDE指標2022」において「ゴールド」を4年連続で受賞



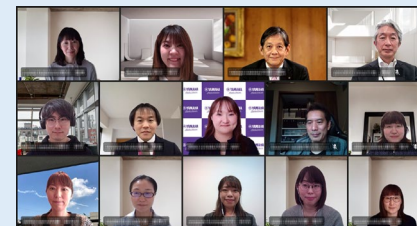
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2022/22111101/

③ 風通しがよく、皆が挑戦する組織風土を醸成する

心理的安全性を高め働きやすい風土醸成

各部門で多様な対話の機会を継続
社長職場訪問 (リモート・実地)

年25回実施、のべ1,064名参加



傾聴トレーニングを実施し、風通しの良い組織風土を後押し

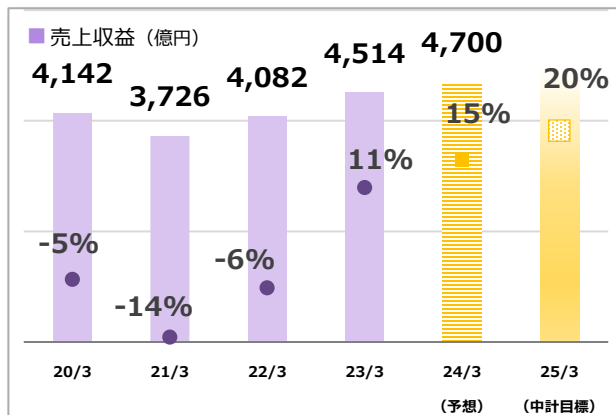
従業員の心身の健康維持・増進を経営の重要テーマに位置け
健康経営銘柄に2年連続選定



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23030802/

中期経営計画 財務目標

売上収益/売上成長率*

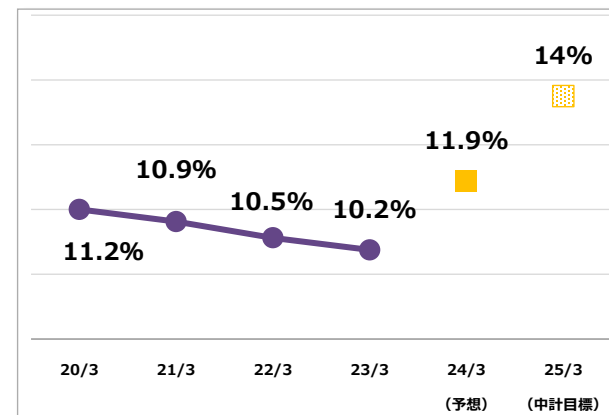


Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

* 中計期間累計の成長率

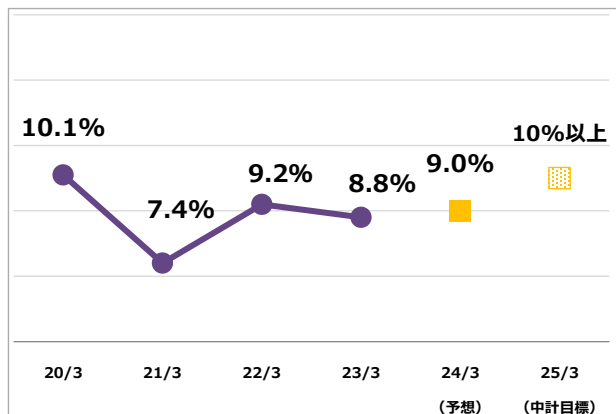
事業利益率



Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

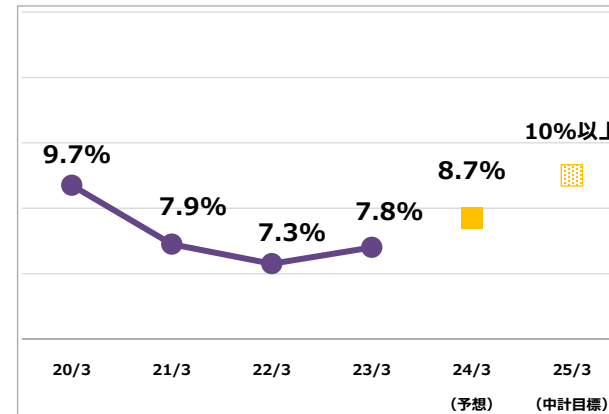
ROE



Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

ROIC



Make Waves 1.0

Make Waves 2.0

社外からの評価

GPIFが採用する6本全てのESG指数に選定

- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパン ESGセレクトリーダーズ指数
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

新 Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt (GenDi J)



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt

FTSE Russell (the trading name of FTSE International Limited and Frank Russell Company) confirms that Yamaha Corporation has been independently assessed according to the FTSE4Good criteria, and has satisfied the requirements to become a constituent of the FTSE4Good Index Series. Created by the global index provider FTSE Russell, the FTSE4Good Index Series is designed to measure the performance of companies demonstrating strong Environmental, Social and Governance (ESG) practices. The FTSE4Good indices are used by a wide variety of market participants to create and assess responsible investment funds and other products. FTSE Russell (FTSE International Limited) と Frank Russell Company の登録商標はここにヤマハ株式会社は第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Index はグローバル・バリュー・インテグレーション・リーダーズ・インデックスにある FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス (ESG) について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。 FTSE Russell (FTSE International Limited) と Frank Russell Company の登録商標はここにヤマハ株式会社は第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

THE INCLUSION OF YAMAHA CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF YAMAHA CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

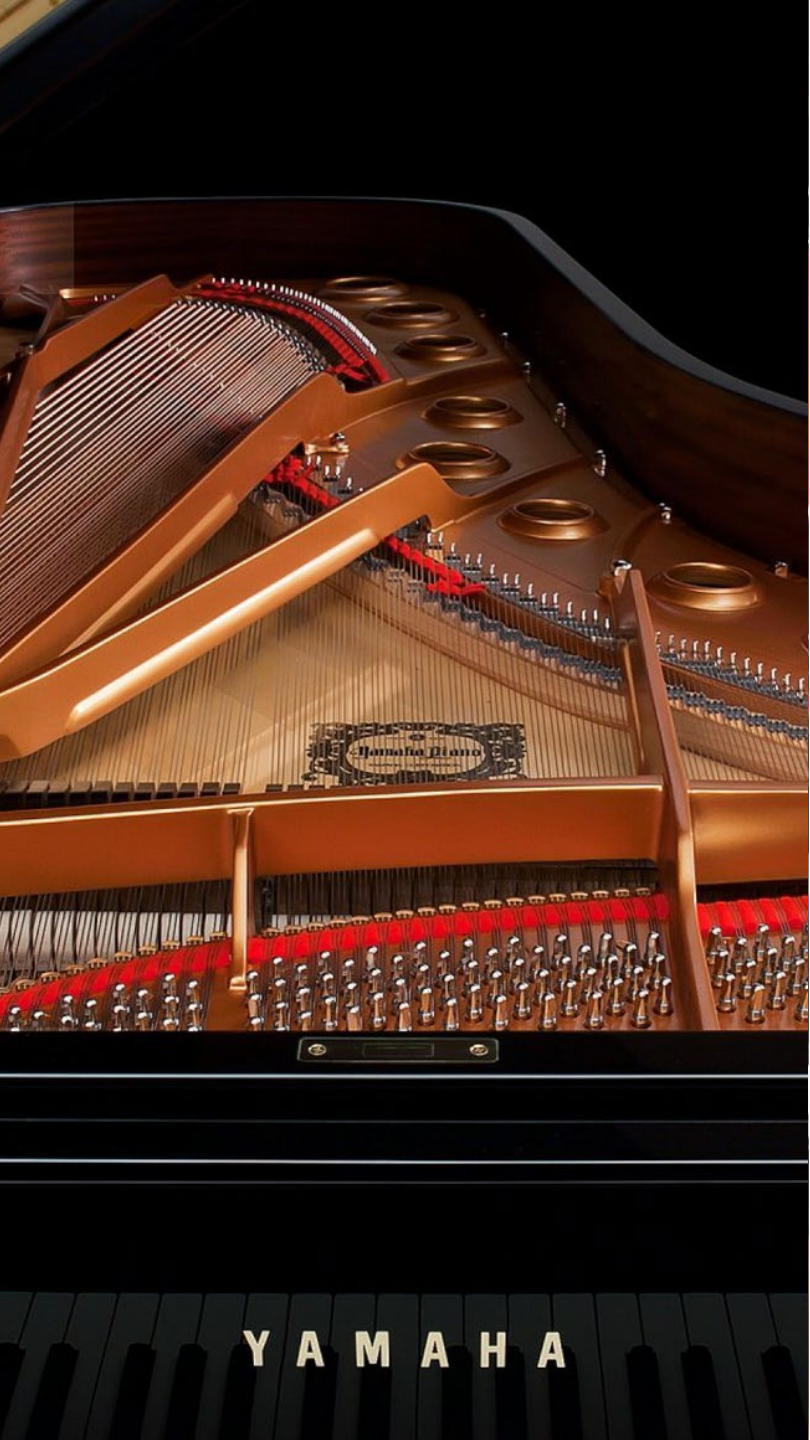
Best Japan Brands 2023

9年連続選定
前年同順位の28位、ブランド価値対前年11%増加*

(US\$百万)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
59,767 \$m 10%	22,837 \$m 7%	16,989 \$m 18%	12,212 \$m 10%	10,676 \$m 16%	10,470 \$m 15%	6,363 \$m -8%	6,337 \$m 9%	5,828 \$m -15%	5,513 \$m 8%
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
5,295 \$m -3%	4,712 \$m 5%	4,688 \$m 8%	4,162 \$m 15%	4,086 \$m 3%	3,448 \$m 10%	3,441 \$m 14%	3,206 \$m 8%	3,073 \$m 0%	2,974 \$m 20%
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
2,949 \$m 9%	2,660 \$m -21%	2,655 \$m 5%	2,509 \$m 3%	2,304 \$m 23%	2,289 \$m 3%	2,190 \$m 7%	2,004 \$m 11%	1,964 \$m 15%	1,848 \$m 3%
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
1,708 \$m -1%	1,451 \$m 9%	1,391 \$m 15%	1,336 \$m 4%	1,330 \$m -9%	1,296 \$m 28%	1,278 \$m 19%	1,260 \$m 5%	1,193 \$m 9%	1,189 \$m -14%
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
1,171 \$m -9%	1,163 \$m 8%	1,153 \$m 6%	1,142 \$m 16%	1,110 \$m 7%	1,068 \$m 8%	1,042 \$m 13%	1,033 \$m 0%	1,001 \$m 5%	993 \$m 8%
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
972 \$m 9%	968 \$m 14%	961 \$m 3%	868 \$m 15%	860 \$m 18%	849 \$m 13%	847 \$m 15%	794 \$m -16%	771 \$m 5%	761 \$m 24%
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
742 \$m 6%	741 \$m -6%	738 \$m 5%	721 \$m -8%	710 \$m 17%	697 \$m 10%	695 \$m 7%	677 \$m -2%	668 \$m 16%	639 \$m 2%
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
631 \$m 6%	621 \$m -2%	620 \$m -9%	616 \$m 15%	578 \$m 3%	539 \$m 15%	537 \$m 12%	527 \$m 4%	520 \$m 2%	518 \$m -6%
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
514 \$m 2%	508 \$m -10%	499 \$m New	479 \$m 2%	472 \$m -5%	469 \$m 18%	457 \$m 5%	452 \$m 8%	450 \$m 9%	422 \$m 12%
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
408 \$m -10%	396 \$m 13%	395 \$m 7%	340 \$m -15%	333 \$m 9%	332 \$m 9%	316 \$m -1%	312 \$m New	296 \$m 9%	295 \$m 2%


* ヤマハ(株)とヤマハ発動機(株)の合同ブランド価値





5. 株主還元

Y A M A H A

配当・総還元性向・配当性向

 1株あたりの年間配当

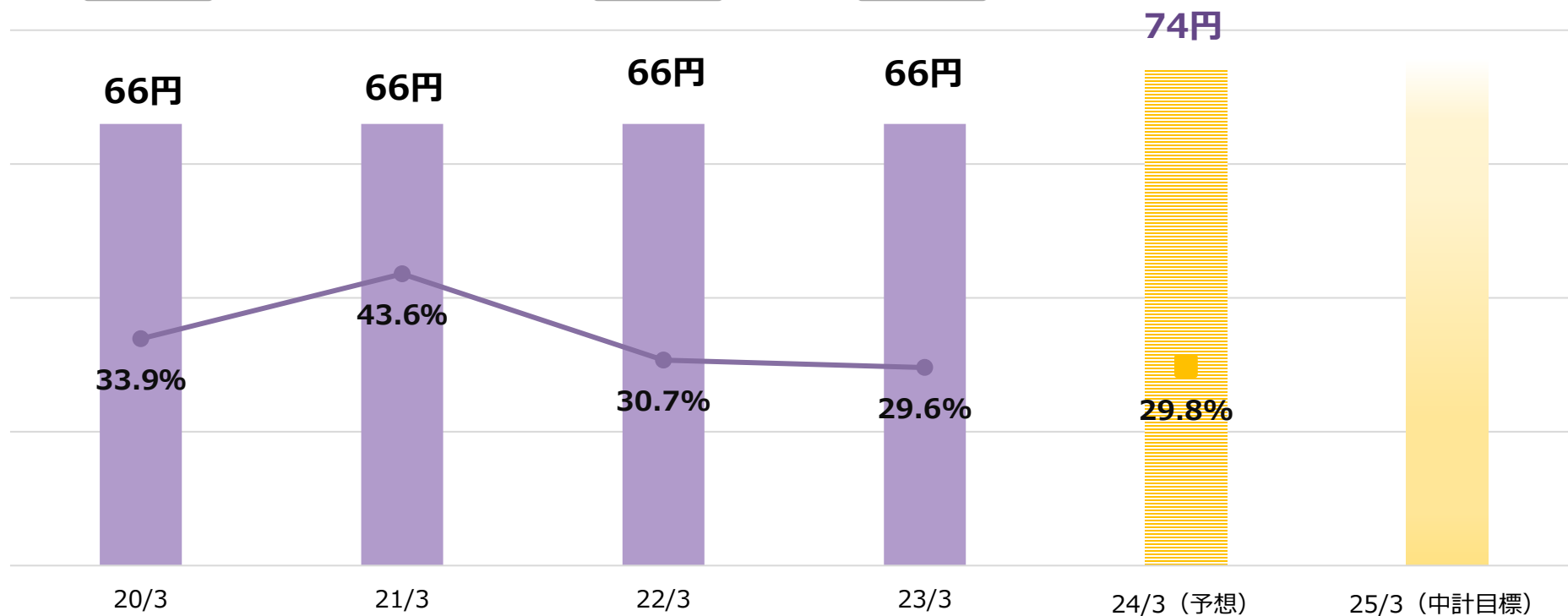
 配当性向

 自社株取得

150億円

280億円

150億円



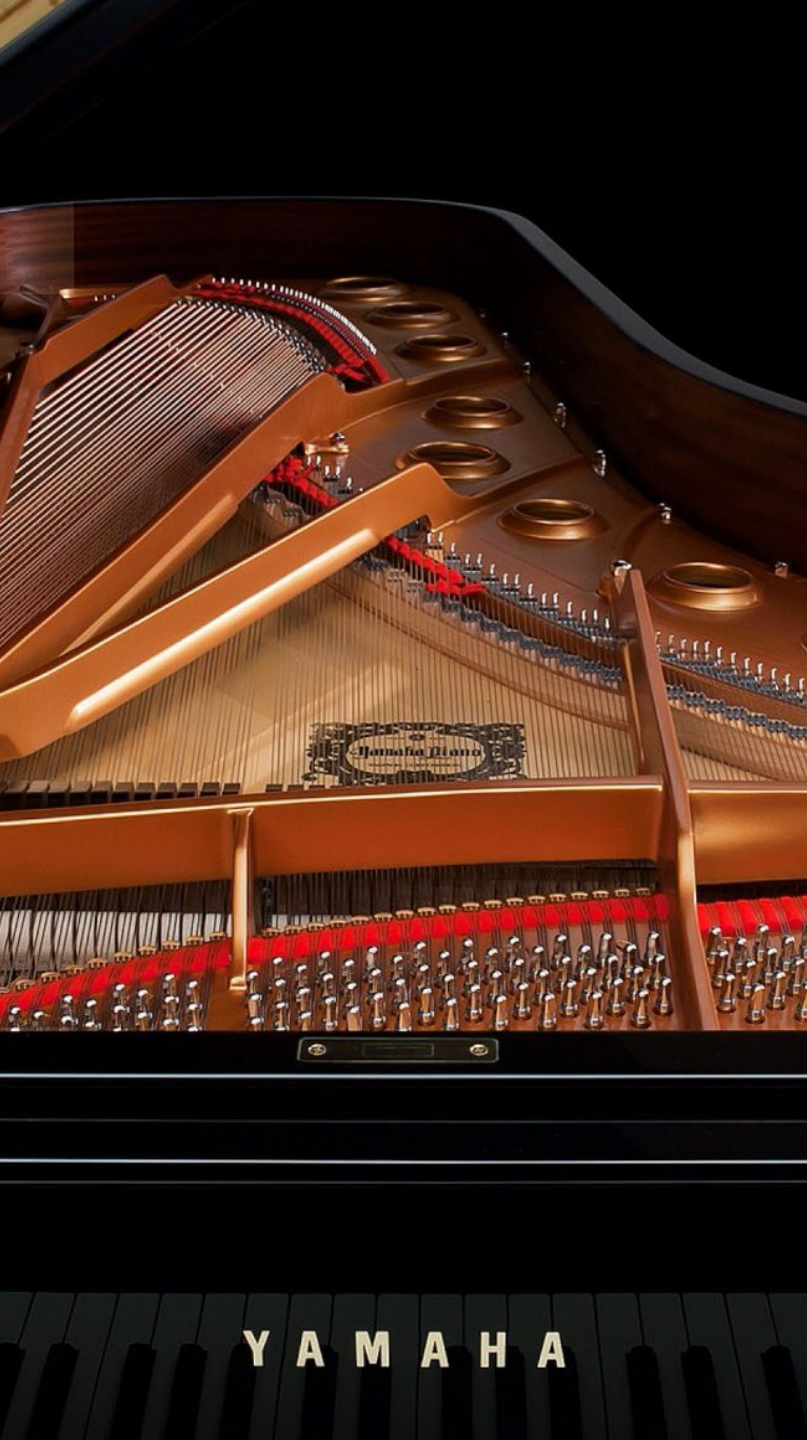
総還元性向

78.8%*

目標 50%

Make Waves 1.0

Make Waves 2.0



付属資料

4Q 業績概要

(億円)

	22/3	23/3	前期比	
			増減	増減率
売上収益	1,059	1,132	73	+6.9% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	82 (7.7%)	71 (6.3%)	△10	△12.7%
当期利益 ^{*1}	73	82	9	12.6%

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

為替レート (円)

売上収益 (期中平均)	US\$	116	132
	EUR	130	142
利益 (決済レート)	US\$	115	133
	EUR	132	140

*2
 △0.5%
 (為替影響除く)

4Q 事業別実績

(億円)

		22/3	23/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	715	722	8	53
	事業利益	82	48	△34	9
	事業利益率	11.5%	6.7%	△4.8P	
音響機器事業	売上収益	262	315	53	20
	事業利益	△0	18	18	△2
	事業利益率	△0.1%	5.6%	5.7P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	82	95	13	5
	事業利益	△0	6	6	3
	事業利益率	△0.3%	5.9%	6.2P	

通期 その他収支等

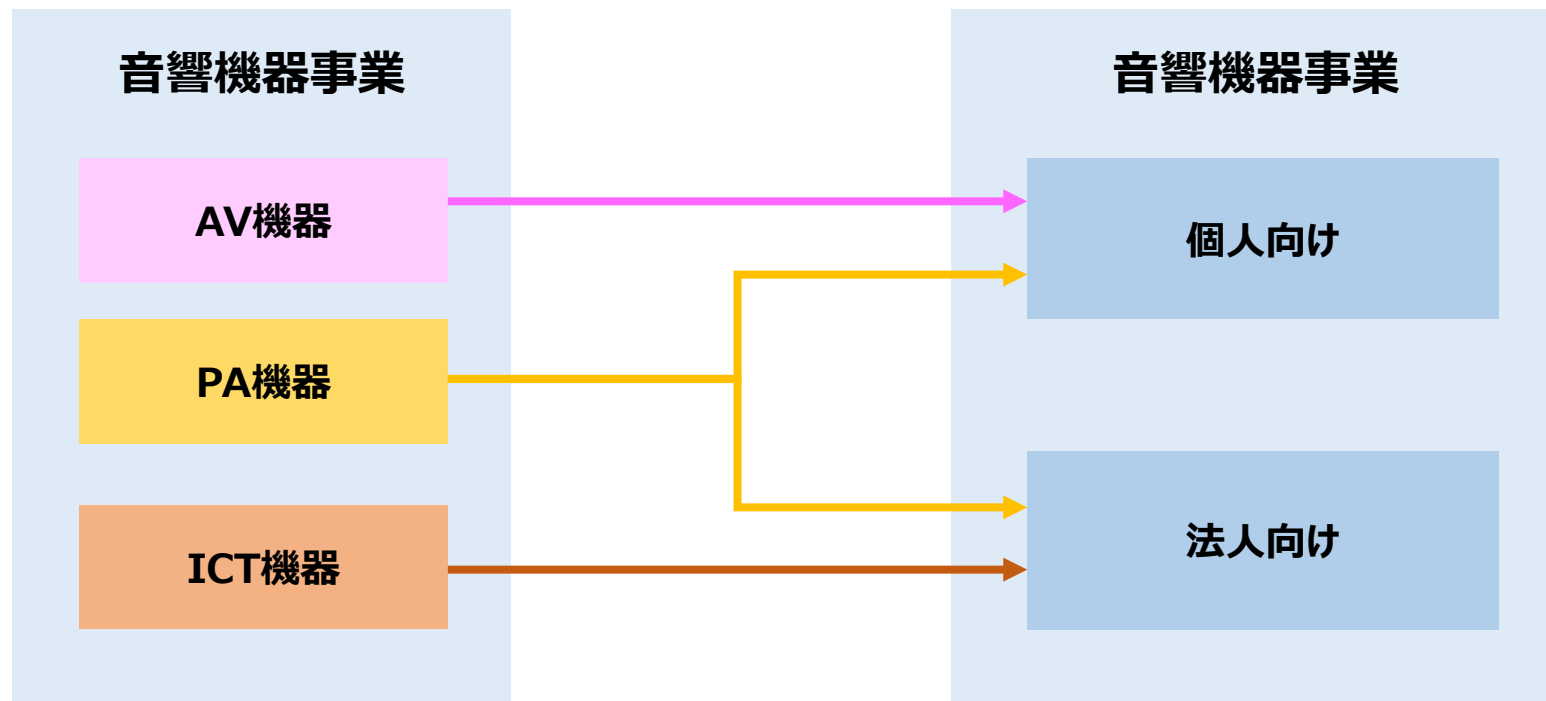
(億円)

		22/3	23/3	24/3 (予想)
事業利益		430	459	560
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	46	△0	△0
	その他	17	6	0
	計	63	6	0
営業利益		493	465	560
金融収支計	受取配当金	34	26	26
	その他	3	15	△6
	計	37	41	20
税前利益		530	506	580
法人税等		157	124	159
非支配株主利益		1	△0	1
当期利益*		373	382	420

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

セグメントの変更について

2024年3月期からのセグメント内訳の変更



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。